

## 航空貨物輸送に期待される役割を果たし 「待機時間が長い」イメージを変えたい

昭和53年の開港以来、国際旅客・貨物輸送を取り扱う拠点として機能している成田空港。その貨物地区に拠点を構える(株)トーハイ成田営業所(長駐礼子所長)は、平成2年の営業所新設以降、輸入貨物全般を扱う運送会社として順調に成長を遂げてきた。

航空貨物を取り扱う運送事業者に対しては、「ドライバーの待機時間が長い」というイメージが色濃いが、そうしたイメージを払拭しながら若年ドライバーを獲得し、持続可能な輸送サービスを提供していくために、同営業所では多彩な取り組みを積極的に展開している。



名鉄NX運輸グループのマスコット「こぐまくん」があしらわれた同社のトラックの前でほほえむ長駐所長

### ■航空貨物輸送の最前線となる成田営業所 事故防止と労働環境改善に着実に取り組む

(株)トーハイは関東に5営業所を構える名鉄NX運輸グループの運送会社で、成田空港内に拠点を構える成田営業所では機械類や雑貨、衣類などといった航空輸送による輸入貨物全般を扱っている。

成田営業所が開設されたのは平成2年のことで、16年には安全性優良事業所(Gマーク)認定を受けている。同営業所における事故防止への取り組みをみると、全社的に年に2回開催している合同安全会議のほか、同営業所内で毎月実施する「安全対策会議」と「門前点呼」がある。安全対策会議では、直近に発生した軽微な事故の映像をドライバーに見せ、周知を図るとともに改善を促している。また、門前点呼は、ドライバーの出発時に運行管理者が立ち会って指導を行うもの。普段は、営業所にいる運行管理者と車庫にいるドライバーは遠隔点呼を行っているが、月1回対面による門前点呼を行うことでドライバーの気持ちを締め、事故防止意識高揚に繋げている。

同営業所では、後退時の事故が多く発生していたことから、後退時における事故防止の徹底に力を注いでいる。なかでも、後退する前には必ず一度下車して車両の周囲を確認することや、接触事故防止のためトラックバスの屋根の高さを確認すること、後退していることを周囲に知らせるためにハザードランプを点灯させることといった「バック手順の遵守」を徹底している。

また、かつては空港の貨物地区内でのフォークリフトによる事故も多かったという。以前は同営業所をはじめとした運送事業者と、輸入航空貨物の取り扱い・保管業務を行う上屋事業者がそれぞれ多くのフォークリフトを運用しており、貨物地区内では数多くのフォークリフトが走り回っているような状態で、フォークリフトによる接触事故も少なくなかった。しかし、現在は構内における事故防止の観点から、運送事業者のフォークリフトはごく一部に限られるとともに、フォークリフトの動線も決められたことで、かつてに比べるとフォークリフトによる事故は減少しているという。

さて、航空貨物輸送においては、上屋事業者からの貨物引き取りと

積み込み時間に要することで、ドライバーの長時間待機が発生していることが大きな問題となっている。特に、正月明けやお盆休み明け、また月初めの月曜や火曜などは航空貨物量が増加する傾向にあり、それに伴ってドライバーに大きなしわ寄せが集中しているという。こうした状況を改善すべく、千葉県トラック協会では成田国際空港株式会社(NAA)に要請し、上屋事業者、通関代理店(フォワード)、通関業者、千葉県トラック協会からなる「2024年問題対策協議会」を発足し、対応策を検討。それを受けて、NAAでは昨年11月、「輸入トラックマネジメントシステム」の運用を開始した。

運送事業者およびドライバーは、上屋事業者のシステムで来場登録を行った上で、荷物を引き取りに来る時間帯をNAAシステムで予約。空港のトラック待機場所入口でトラックの自動車審認を行うと、上屋事業者がバースを割り当て、ドライバーの携帯電話に呼び出しがかかるしくみとなっている。

同社でもかつてはドライバーの待機時間が長くなる傾向にあったものの、同システムの導入により、当日予想される航空貨物量などを動察しながら早めに予約を行うことで、待機時間を短くすることができるようになったという。輸入貨物においては、空港到着後に税関による輸入検査によって輸入許可が下りた後に、トラックに荷物を積み込むことが可能となる。以前は輸入許可が下りるのが午後になってしまいうこともあったが、現在では午前中に輸入許可が下りた荷物については早めにシステム予約を行い、当日発送を行っているという。また、輸入許可が遅い時間となり、ドライバーの待機時間が長くなるのが想定される場合には、通常担当しているドライバーとは別の積みみ作業員に交代させ、通常担当しているドライバーには早く帰ってもらうようにするなど、分業化を進めることでドライバーの待機時間削減に



ながうねあやこ  
長駐礼子 所長



同営業所内で毎月開催する「安全対策会議」では、事故事例を共有して事故防止に繋がっている



同営業所では「名鉄ストレッチ体操」を推奨し、ドライバーの運動不足解消と運動習慣定着を図っている



同営業所では月1回対面による門前点呼を行うことでドライバーの気持ちを引き締め、事故防止意識高揚に繋がっている

繋がっているという。

「システム導入から1年が過ぎましたが、まだまだ試行錯誤が続いており、ドライバーのさらなる待機時間削減に向けてシステムをいかに活用していくかが大きなカギになってくると感じています」(長睦所長)

さて、同営業所には10人のドライバーが在籍しているが、平均年齢は50歳代後半となっており、在籍ドライバーの高齢化と若年ドライバーの確保が大きな課題となっている。

同社では定期的に昇給を実施しており、ドライバーの生活安定に繋がっている。また、若年ドライバーのスキルアップを図る観点から、オートマ限定解除費用や大型自動車運転免許取得費用などを全額補助。また、フォークリフト免許の取得についても会社が全額補助している。また、免許取得に際しては、シフトの組み換えを行うなど取得しやすい環境の整備を進めている。

「航空貨物を取り扱う運送会社に対して、求職者は『ドライバーの待機時間が長いので、航空貨物を取り扱う運送会社には勤めたくない』というイメージをもっています。そのため、当営業所でもドライバー不足が深刻となっており、協力運送会社の手助けがないと輸送を継続することが難しい状況です。ドライバーの確保に向けては、航空貨物輸送に対するイメージを良くしていくことが大事であると考えており、当営業所として今できる取り組みを着実に進めていきたいと考えています」(同)

在籍ドライバーの高齢化が進む中で、ドライバーの健康対策も急務となっている。同営業所では、安全対策会議の中で健康づくりに関する話題を取り上げるようにしているほか、健康診断で要再検査と診断されたドライバーに対しては「イエローカード」を出して、再検査受診を促している。また、同営業所では乗務前点呼の前に血圧測定を義務付けており、測定の結果最高血圧180以上、最低血圧110以上となったドライバーに対しては乗務禁止措置を課している。

そして、名鉄NX運輸グループでは運動習慣の定着化を図るために「名鉄ストレッチ体操」を推奨しており、同営業所でもストレッチ体操を行うようにしている。

さて、長睦所長にはもともと「空港の仕事に就きたい」という夢があり、高校生の頃から成田空港でアルバイトをしていたという。その後、語学専門学校を卒業して成田市内のホテルに就職。その後、東京の設備会社で働き、成田市に戻り、同社に就職した。令和5年には千葉県トラック協会女子部会に入会している。女子部会員には性格の明るい人が多く、会員の中に航空貨物を取り扱っている運送会社の経営者等はいなかったものの、様々な法改正などに関する情報交換を行うなど、長睦所長は有益に感じているという。今年9月には、全日本トラック協会女子部会が開催した令和7年度「全国研修会」にも参加。「会社を背負って活躍を続けている女性経営者が多いことに驚くとともに、非常にいい刺激になりました」と長睦所長は語る。

「千葉県トラック協会女子部会は、事業運営や経営に関する研修はもちろんのこと、クリスマスのリース作りやお正月のお飾り作りなど、女性ならではの様々なイベントを通じて会員同士の交流を深める場として機能しています。近年、運送会社にも女性の管理職が増えています。女子部会では、経営者だけではなく、私と同じような営業所の所長でも快くメンバーとして迎えています。女性管理職の皆様にも、女子部会への入会をおすすめします」(同)

さて、成田空港では空港の機能強化を図るために、第3滑走路の新設や旅客ターミナルの再構築など、「第2の開港」とも言うべき様々な取り組みが進められている。この中には、新貨物地区の整備も盛り込まれており、今後物流拠点としての一層の機能強化が図られることとなる。

「現時点では、新ターミナル計画に基づいて貨物地区が今後どのように変わっていくのか、具体的な情報にはまだ接していません。しかし、『今後も運送はなくなることはない』と考えています。当営業所としては、航空貨物に対して期待される役割をしっかりと果たしていった上で、今できることを着実に、しっかりと取り組んでいきたいと考えています」(同)

## ホットにゆーす

### ■推し活から広がる夢 キャンピングカーと猫の保護活動も視野に

長睦所長の趣味は、「アイドルの推し活」である。

長睦所長は、お気に入りのアイドルが開催するライブの会場に全国津々浦々足を運び、アイドルの魅力に存分に浸るとともに、訪れた先々ではその土地ならではの美味しい食事を楽しんでいるという。

「アイドルの推し活はストレス解消に繋がるため、今後も続けていきたいと考えています。また、『キャンピングカーで日本一周』や『里親を必要としている猫の保護活動』など、夢は大きく広がっています」(同)



ジュゴンやラッコに会える鳥羽水族館(三重県鳥羽市)を訪れた長睦所長

企業プロフィール	
株式会社トーハイ 成田営業所	
所長	長睦 礼子
所在地	千葉県成田市駒井野 2162 第2貨物ビル 201号
従業員	20人(うち作業員・ドライバー 10人)
車両数	13台